

業組合
工事組
管協同
100t水槽の活用法伝える
砥上公園の操作訓練で

耐震性飲料用貯水槽操作訓練が3月14日、砥上公園で行われた。当日は鶴沼石上町内会や鶴沼地区町内会自治会連合会のメンバーなどおよそ50人が集まり、災害時の飲料水確保に効力を発揮する100t水槽の扱い方を学んだ。

操作説明を行った藤沢市管工事業協同組合（相原厚志理事長）は公園の地下に

設置されている水槽の開け方や水を引き上げるポンプなどの使用方法を実演。参加者からは「水槽のふたに操作方法を明記してほしい」「女性でも機材を運び出せるのか」など、積極的な意見や質問が飛び交った。同地区での操作訓練は今回で2回目。100t水槽は同公園を含め、市内14カ所に設置されている。



地下の100t水槽を覗く参加者